

事故などの後遺症で「高次脳機能障害」を抱えている方、その家族の方、一人で悩んでいませんか？

同じような体験をした仲間が集まり、語り合きましょう。

「安心して集まる場が欲しい」「少しの時間だけでもいいけれど一息つこう」

そんな思いからスタートしました。



## リレーマラソンに参加しました

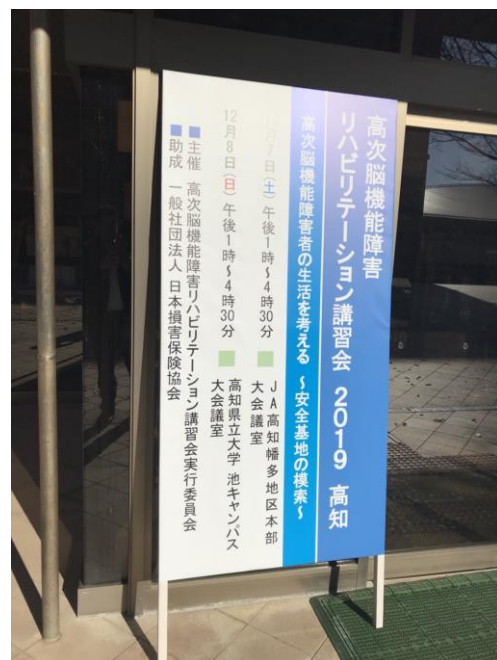
12月1日に高知県立春野運動公園で開催されたリレーマラソンに参加しました。当事者2名と支援者7名でハーフの部にエントリーしました。運動不足気味の人でしたが、襷が途切れることなく無事完走することができました。83チーム中53位でした。



## 高次脳機能障害リハビリテーション講習会 2019 高知

12月7日に四万十市で、8日に高知市で高次脳機能障害リハビリテーション講習会 2019 高知を開催しました。

「高次脳機能障害者の生活を考える ～安全基地の模索～」をテーマに、有識者を交え県内の当事者・家族・支援者と「高次脳機能障害者が頑張る・頑張れること背景にある何か」について意見を交換しました。





## 11月17日月例会

この日は当事者7名、家族5名、支援者4名が参加しました。いつも通り、各々自己紹介と近況報告を行いました。

Aさん：事故で高次脳機能障害になりました。A事業所で作業をしています。11月9・10日にピアサポート研修に行ってきました。専門用語が多く難しかったですが、いろいろな障害のある方とのやり取りを通して大変勉強になりました。

Bさん：県外で働いています。父が心臓発作からの脳卒中で高次脳機能障害になりました。ケアマネからの紹介で参加しました。父は高知在住で、母は病気で入院中です。父は記憶に問題があり、普通に過ごせるときとそうでないときの差があります。怒りやすく、言い合いになってしまうこともあります。薬の飲み忘れや、昼食を食べ忘れ、夜に食べていることもあります。通所は嫌がるので、週に一回訪問に入ってもらっています。

Cさん（母）：息子がB事業所に入所中です。今は自立を目指して頑張っています。

Cさん：道路を歩いているときにてんかんを起こして、倒れた時に頭部をぶつけ、半身麻痺と高次脳機能障害になりました。B事業所で特定の人とよく問題を起こしてしまいます。よく面倒を見てくれる支援者の方に「C君は難しい。他の人に面倒を見てもらって」と言われショックでした。送迎時によく問題を起こす人と一緒になるので、自分の送迎時間を変えてもらうように言うと、職員さんに「送迎時間を変えるのは簡単だけど、そういう問題に向き合っただけで良くなってほしいから頑張ってみない？」と言われ、受け入れました。でも再度考えが変わって、もう一度お願いしたら、また「頑張ってみない？」と言われました。母に「最初から変えてくればこんなことにならないのに何で変えてくれないのやろう？」と言うと、「あなたが良くなることを望んでくれている人がいるのよ。」と言われ、自分のことを考えてくれている人がいるんだなと思って頑張っていこうと思いました。

理事長：家での生活はどうか？コーラを飲む量は少なくなりましたか？

Cさん：コーラはおさまってません。インターネットは遅くまでやらなくなりました。夜は8時に寝て5時に起きています。

Dさん：前回から参加させてもらっています。母を看ています。この会には家族しか来ないと思っていたら、当事者の方も参加していて、話を聞いて衝撃を受けました。母を看てきて、この18年間「どうしてできないのだろう？」という思いと戦ってきましたが、最近は見守ることができるようになってきました。皆さんのおかげだと思います。

E さん：中学生の時に脳出血を起こしました。3 年くらい前に高次脳機能障害の診断を受けました。それまでは周囲から「なんでできないの？」「なんでわからないの？」「努力が足りないんじゃない？」と言われ続けてきました。診断がついて、少しは楽になるかなと思っていたら、今度は仕事が無い。今までの職種の業界での高次脳機能障害の普及は 10 年くらい先になるんじゃないかと予想していて、他の仕事をしようと思っています。

F さん：脳梗塞で失語症になりました。高次脳機能障害も患っています。失語は自覚がありましたが、高次脳機能障害は自覚がありませんでした。計算や、漢字ができないこととかが多いです。病気になって 9 年目になります。仕事は C 病院で働いています。今年の暮れで 5 年目になります。今はこのような交流会にいろいろ参加しています。やはり刺激を受けることが一番だと思います。マラソンもしています。日高村の茂平マラソンに参加します。あまり走れないかもしれないけれどチャレンジしています。今度リレーマラソンに青い空として参加します。

G さん（父）：1999 年 4 月に息子がバイクで事故に遭い、もうすぐ 21 年になります。私は、今は無職で釣りを楽しんでいます。C さんのようにビールと焼酎が止まりません。

家族は発症前を知っているから余計につらい。できることが増えたら嬉しくて（過度な要求は良くないと分かっている）、次はこれ、さらに次はこれと欲が出てくる。難しい。

理事長：「成長の中で、受傷というイベントがあって、それはバージョンアップなんだ。」という当事者の意見を聞いてすごく勇気づけられたことがあります。

支援者 A：家族会や女子会でいろいろ知ってきたつもりでしたが、高次脳機能障害支援拠点センター青い空で関わる当事者の方からは、生活の困りごとを勉強させてもらっています。

H さん（母）：息子が 16 歳の時に交通事故に遭い、今は 31 歳、15 年経ちました。外に出ていたり、バス釣りにいたり、そのドライバーに徹しています。月に 2 回、自由な時間をもらっています。自由な時間は家の事をしたり、友達に会いに行ったりしています。

H さん：D 事業所でエプロンを畳んだり、菓子の箱を折ったりする仕事をしています。社協の人と小学校で 1 時間くらいの話をしてきました。子供さんは目をキラキラさせて話を聞いてくれました。昨年講演したことを憶えてくれた女の子が来て写真を一緒に撮りました。

「ペットボトルをどうやって開けるの？」と質問があり、左ふとももで挟んで蓋を開けるのを見せると、会場から「おー！」と歓声が上がって嬉しかったです。

I さん：来月になると交通事故から丸 23 年経ちます。清掃作業で、ほうきで掃く時に最初は決まった持ち方でしか出来なかったが、今は出来るようになりました。いつまでたってもかばっていたら使えるようにならないと思います。トラブルは日々多いです。でもそのトラブルも受け入れて楽しまないといけないと思います。そのトラブルも含めて自分の人生なんだと。

Jさん：12年前に脳出血を起こしました。脳出血になったおかげで内臓を壊すほど飲むことは無くなったので良かった、と自分に言い聞かせています。就労支援 B 型事業所に通っていますが、工賃が安くて涙が出そうになる。同じ左片麻痺の方と仲良くなりました。一見おかしい人に見えますが、きちんとした人です。これからも仲良くしていきたいです。

支援者 B：Aさんから報告があったように11月9・10日に東京のピアサポート研修の専門研修に参加してきました。2年前は高次脳機能障害者の参加者が1名だったのが、今年は10名くらいいてすごく嬉しかったです。フォローアップ研修を終えれば、ピアサポーターとして免許が発行されます。

理事長：ピアサポーターは、家族会の中でやっているように相談したり意見をもらったり重要な役割だと思っています。病院のカフェでそういうことができれば、入院中からアドバイスを受けることができるようになります。

支援者 C：滋賀県で開催された糸賀一雄記念賞音楽祭に参加してきました。障害者舞台芸術を初めて見ましたが、見てみないと分からない良さがあると思います。イレギュラーやトラブルが多いのですが、それも含めて楽しめますし、感動もします。本当に素晴らしいものだと思ってお勧めします。

理事長：障害者芸術は正確ではないかもしれませんが、でも100%感動します。これはいったい何なのかということ考えた時に1つ気付いたことがあります。それは彼らの舞台での活動を見ていると、まるで自分の子供の舞台を見ているような気分にさせてくれます。こちらが意図しなくても、そういう世界にあつという間に引き込む力があると思います。プロの演奏技術は正確無比だけど、このような特徴はありません。技術ではたどり着けない何かがあるように思います。



## 当事者・家族の会 ご案内

**月例会ご案内** 日時：12月15日（日）

場所：青い空（参加費：無料）

連絡・相談窓口：NPO法人 脳損傷友の会高知 青い空

就労継続支援B型事業所 青い空(平日 9:30～17:00)

〒780-8040 高知市神田 462-7

Tel：088-803-4100 Fax：088-803-4420

青い空携帯：090-9450-2990

E-mail：[npo-aoisora@snow.ocn.ne.jp](mailto:npo-aoisora@snow.ocn.ne.jp)

URL：<http://blue-sky-kochi.com/>

**女子会ご案内** 日時：12月14日（土）

詳細は和田さんにお問い合わせ下さい。

お問合せ：090-3186-6701（和田さん携帯）

**つどいご案内** 日時：1月25日（土）

場所：つどい処

時間：午前10時～

お問合せ＝TEL：0889-52-2880（つどい処）



## 当事者・家族の会 入会のご案内

「NPO法人 脳損傷友の会高知 青い空」は、事故や病気で脳を損傷し、その後遺症として高次脳機能障害をもつ当事者および家族に対して、高次脳機能障害についての正しい知識や情報の提供および社会参加を促進するための事業等を行うことで、当事者の日中活動の場を確保し、当事者・家族が安心して生活できる環境を整え、併せて社会の理解を得るための活動を行うことを目的に設立されました。

当会の趣旨、活動にご賛同いただける当事者・ご家族の皆様、市民の皆様、医療・福祉分野で、ご関係のある個人又は団体の皆様、どうか正会員または賛助会員としてご支援いただければありがたく存じます。

・入会金：10,000円（正会員のみ）・正会員年会費：5,000円・賛助会員会費：3,000円

NPO法人 脳損傷友の会高知 青い空 〒780-8040 高知県高知市神田 462 番地 7

TEL：088-803-4100 FAX：088-803-4420

E-mail：[npo-aoisora@snow.ocn.ne.jp](mailto:npo-aoisora@snow.ocn.ne.jp)

URL：<http://blue-sky-kochi.com/>